


HakuhodoDY holdings

2025年 3月期 上期 連結決算概要

2024年11月13日



2025年 3月期 上期
連結業績

2025年3月期 上期 連結業績

- 売上高は前年同期比5.4%増、収益も同7.1%増。
- 営業利益は75億円増益の88億円。経常利益は62億円増益の97億円。
- 北米における構造改革関連等、特別損失を70億円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期から58億円増益の-49億円。

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比	
売上高	735,393	+37,539	+5.4%
収益	427,853	+28,295	+7.1%
売上総利益	183,546	+8,456	+4.8%
営業利益	8,876	+7,530	+559.4%
経常利益	9,799	+6,237	+175.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	-4,989	+5,883	n/a
のれん償却前四半期純利益	3,213	+6,382	n/a

2025年3月期 上期 連結業績（調整後）①

- 売上高は前年同期比5.8%の増収。売上総利益は同6.7%増加。売上総利益率は0.2pt上昇。
- 販管費は同0.5%増加。営業利益は103億円増益の56億円。
- のれん償却前営業利益は108億円増益の138億円。

2025年3月期 上期	(金額：百万円)	実績	対前年同期比	
売上高		732,127	+40,410	+5.8%
収益		424,587	+31,166	+7.9%
売上総利益		180,290	+11,304	+6.7%
売上総利益率		24.6%	+0.2pt	
販管費		174,670	+925	+0.5%
営業利益		5,620	+10,378	n/a
OM率		3.1%	+5.9pt	
のれん等償却額		8,202	+498	+6.5%
のれん償却前営業利益		13,822	+10,877	+369.3%
のれん償却前OM率		7.7%	+5.9pt	

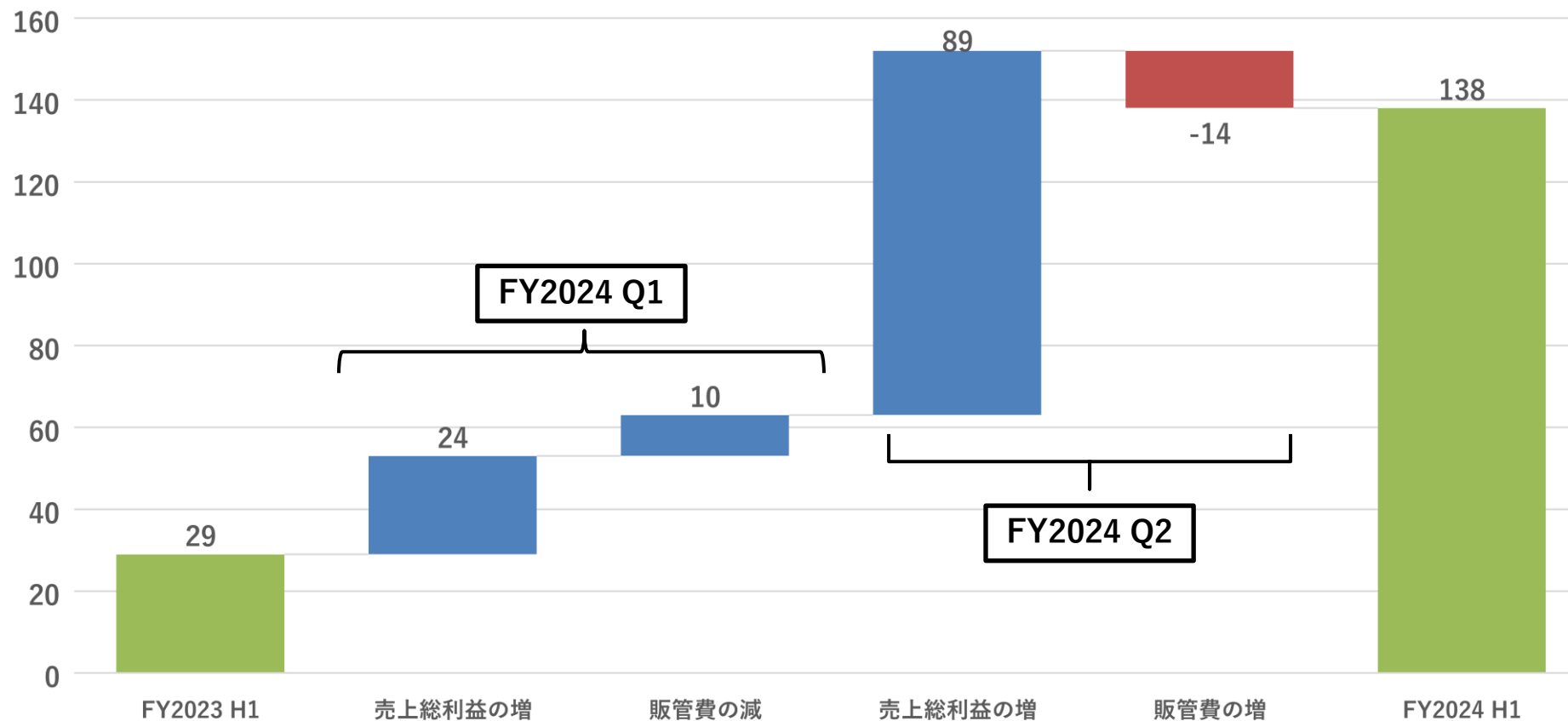
※ のれん等償却額とは、のれん償却額および企業結合により発生した無形資産の償却額の合計である。

※ 調整後：連結子会社であるユナイテッド株式会社が保有する、株式会社メルカリの株式売却益を除く。

2025年3月期 上期 連結業績（調整後）②

- 上期の調整後のれん償却前営業利益は、108億円の増益。特にQ2の売上総利益の伸長（前年差+89億円）が増益に寄与した。
 - Q1：売上総利益は24億円増加。販管費は10億円減少。
 - Q2：売上総利益は89億円増加。販管費は14億円増加。

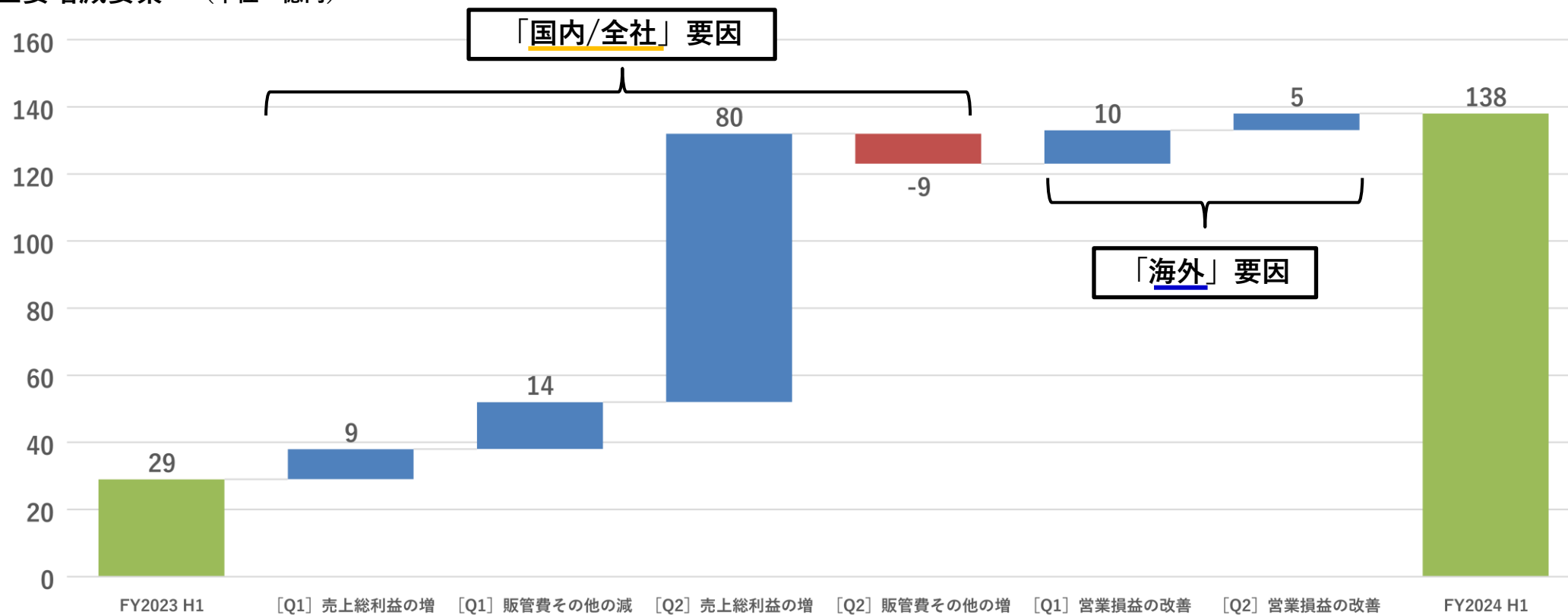
主要増減要素（単位：億円）



2025年3月期 上期 連結業績（調整後）③

- 上期の調整後のれん償却前営業利益は、特にQ2における国内の売上総利益の増（Q2：前年差+80億円）が増益に寄与した。
 - ・ 国内/全社：Q1は国内の売上総利益が前年同期比で9億円増、費用コントロールの効果もあり23億円の増益。
：Q2はテレビやインターネット領域が好調であったほか、前年度から繰り越されたBPO業務の計上も影響し、71億円の増益。
 - ・ 海外：為替変動影響を除いたトップラインが伸び悩む中、費用構造改革の効果によりQ1に10億円、Q2に5億円の増益を確保。

主要増減要素（単位：億円）





2025年 3月期
業績予想

2025年 3月期 業績予想

- 2025年3月期通期の業績予想は従来のものから変更していません。

2025年3月期 通期業績予想

(金額：百万円)	通期業績予想	対前年同期比
売上高	1,675,000	+6.1%
収益	1,000,000	+5.6%
営業利益	36,000	+5.0%
経常利益	38,500	+1.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	15,000	-39.8%
のれん償却前営業利益	52,000	+3.8%
調整後売上総利益	415,000	+6.9%
調整後のれん償却前営業利益	49,000	+11.4%

*調整後：連結子会社であるユナイテッド株式会社が保有する、株式会社メルカリの株式売却益を除く

2025年 3月期
株主還元

● 2025年3月期 配当金予想

- 本日（2024年11月13日）開催の取締役会で、中間配当を1株あたり16円とすることを決議しました。
- なお、年間の配当金予想は従来予想通り、中間配当を含め1株あたり32円とします。

The background features a dynamic, abstract pattern of swirling, brush-like strokes in various shades of blue, ranging from light to deep navy. The strokes are fluid and organic, creating a sense of movement and depth. A semi-transparent dark blue horizontal band is positioned across the middle of the image, serving as a backdrop for the white text.

中期経営計画 事業構造の変革に向けた強化施策

中期経営計画 事業構造の变革

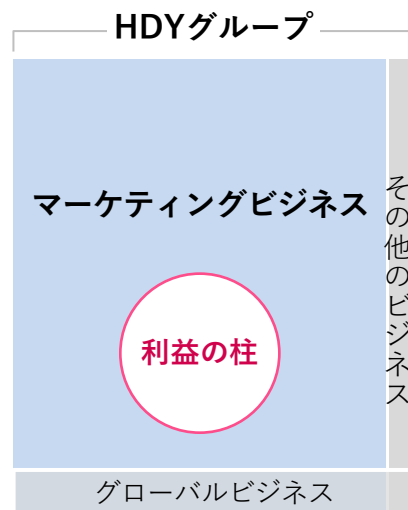
- 2024年6月に発表した中期経営計画では、「マーケティングビジネスの構造改革」を一つのテーマとして掲げた

2024年3月期

2027年3月期

2032年3月期

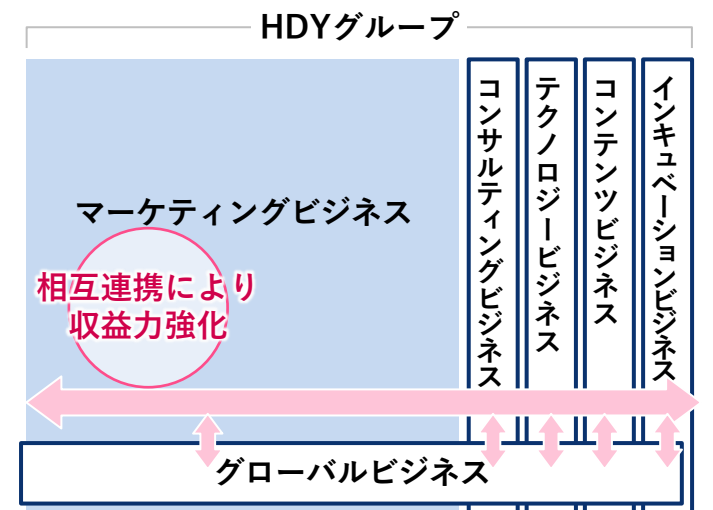
従来～現在
マーケティングビジネス
(特に広告) 中心



中期経営計画 3カ年 収益性改善と成長オプションの創造

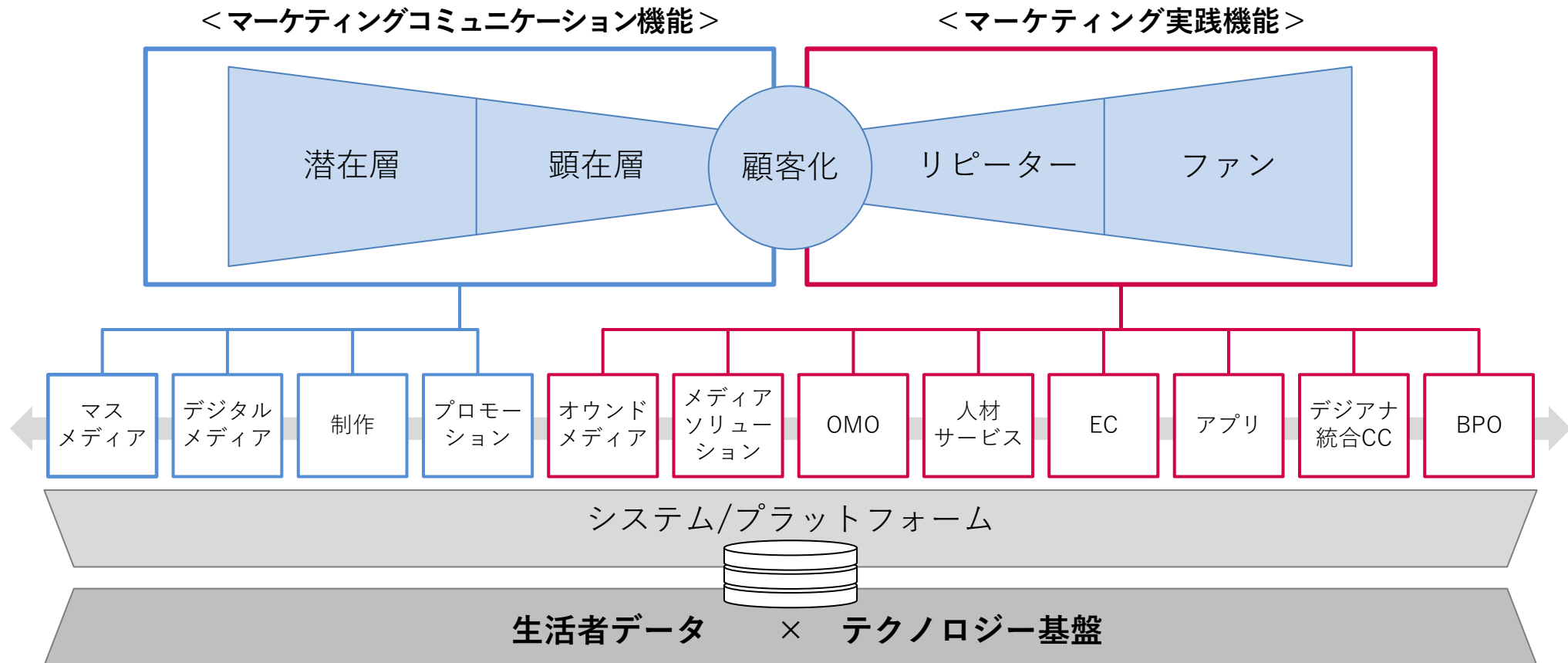
- 1 マーケティングビジネスの構造改革**
 - ・ 伸長領域であるデジタル&コマース領域の規模拡大
 - ・ 既存領域も含めた費用の最適化
- 2 新たな成長オプションの創造**
 - ・ コンサルティング、テクノロジー、コンテンツ、インキュベーション
- 3 グローバルビジネスのリモデル**
 - ・ 成長を目指しながらコストコントロールも行い利益化

将来像



マーケティングビジネスの変化

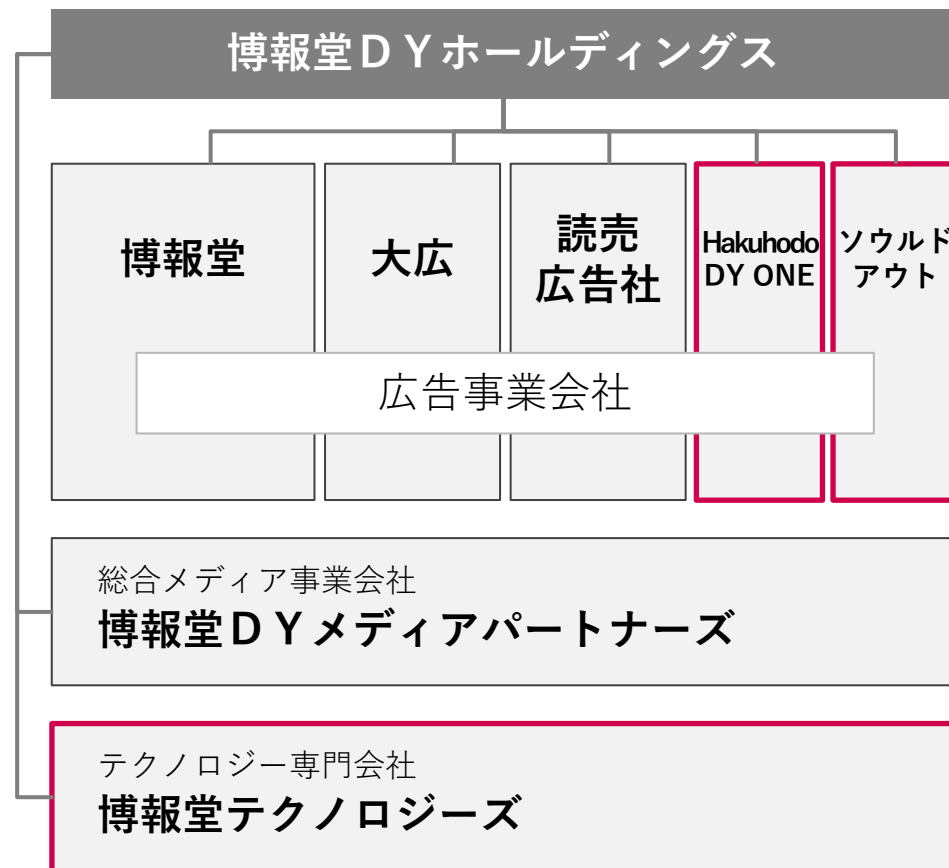
- データ/テクノロジーを活用したフルファネル対応は、マーケティングビジネスの必須条件に
- “生活者データ・ドリブン”フルファネルマーケティングが今後主流に



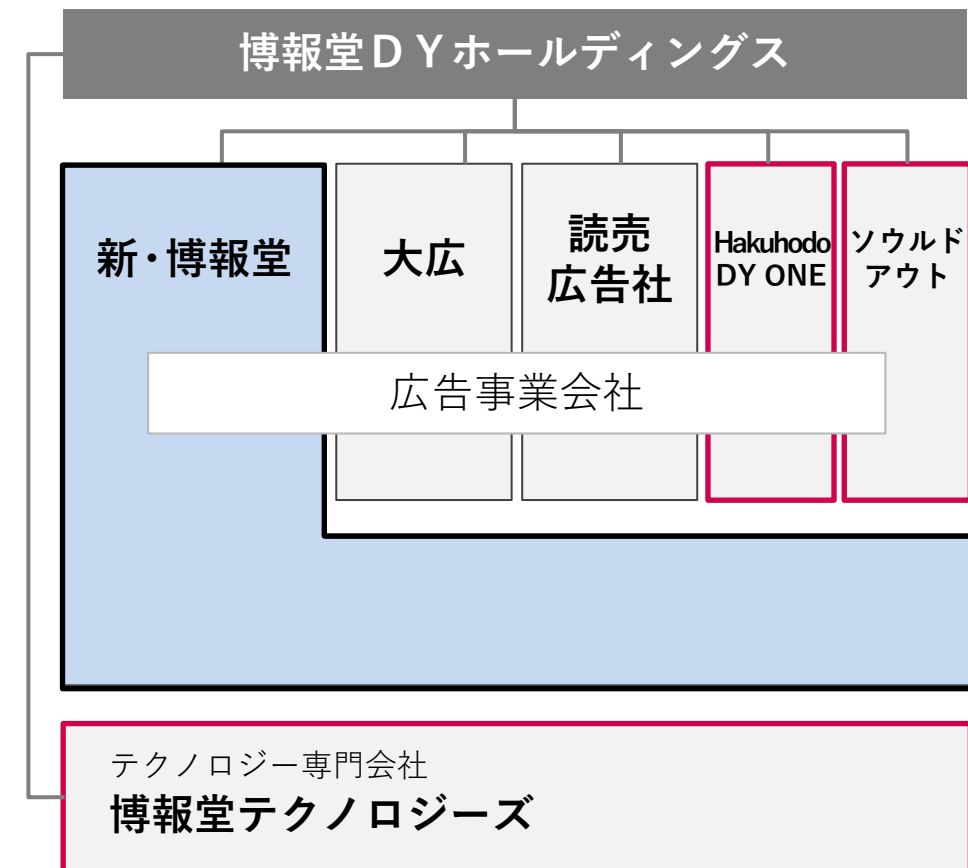
シームレスなフルファネルマーケティング体制の構築

- 博報堂／博報堂DYメディアパートナーズを統合し、フルファネルマーケティング機能の高度化を推進（25年4月を想定）
- 企業のフルファネルマーケティングニーズへのシームレスな対応に加え、メディア販売力や提案力を強化

現在

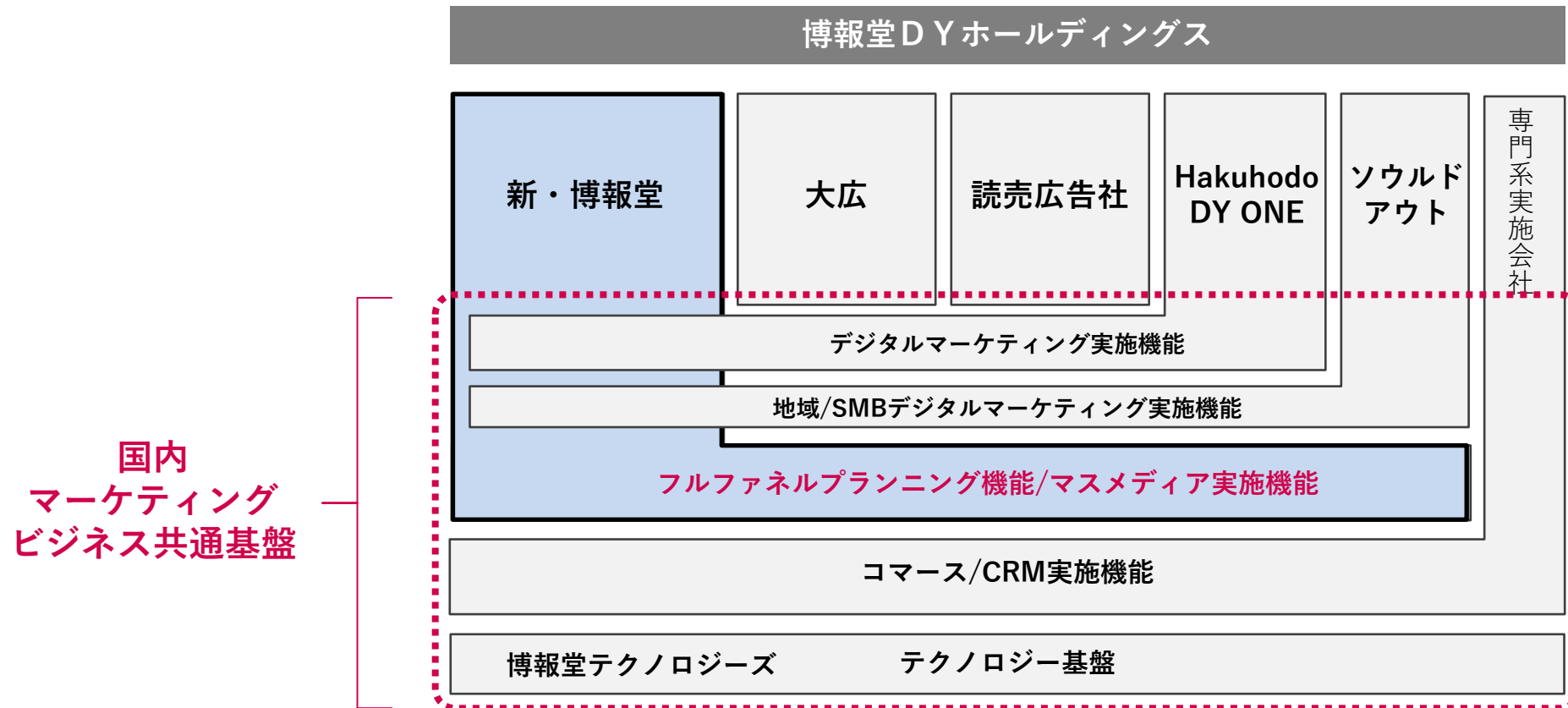


2026年3月期



将来像

- 新博報堂は、グループのフルファネルマーケティングの共通基盤となることを目指す
- 競争力強化と効率化を進めるために、グループの制作領域や専門マーケティングサービス系企業の統合や再編を検討
- グループの各事業会社が、共通基盤を活用して、最適なサービスを提供する新たなグループ構造へと段階的に進化



The background features a dynamic, abstract pattern of blue, wavy lines that create a sense of movement and depth. The lines vary in thickness and direction, some curving and others more straight, all set against a darker blue backdrop. A semi-transparent horizontal band is centered across the image, providing a clear space for the text.

補足資料

中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

中期戦略

● 目指すべき姿：クリエイティビティ・プラットフォーム

- ✓ 博報堂DYグループは、生活者を起点としたクリエイティビティで生活者・企業・社会をつなぎ、新たな関係価値を生み出すことで、未来を創造するグループとなる
- ✓ 従来の広告会社グループの枠を超え、6つの事業領域に強みを持つクリエイティビティ・プラットフォームへの進化を通し、ダイナミックに事業構造の変革を進め、中長期での大きな成長と企業価値の向上を目指す

事業構造の 変革に向けた 強化施策

収益性改善と成長オプションの創造

- ① **マーケティングビジネスの構造改革**
伸長領域であるデジタル&コマース領域の規模拡大／既存領域も含めた費用の最適化
- ② **新たな成長オプションの創造**
コンサルティング、テクノロジー、コンテンツ、インキュベーション
- ③ **グローバルビジネスのリモデル**
成長を目指しながらコストコントロールも行い利益化

中期経営目標 基本指標 (2027年3月期)

調整後※1 のれん償却前 営業利益 年平均成長率	+10%以上
調整後※1 売上総利益 年平均成長率	+5%以上
調整後※1のれん償却前 オペレーティング・マージン	+15%以上 (通期決算時に確認)
のれん償却前ROE	+10%以上 (通期決算時に確認)

※1 調整後：メルカリ株売却益除く

中期経営計画 モニタリング指標

	売上総利益 年平均成長率 ^{※2}	モニタリング指標	備考
マーケティングビジネスの 構造改革	国内 マーケティングビジネス	+7.0%	4%程度 売上総利益 構成比 66.4%
	国内 デジタルマーケティング	+7.6%	市場以上の伸長率 市場の伸長率 (特サビ/4-9月累計) +6.9%
新たな成長オプション の創造	国内 4事業領域合計 ^{※3}	+18.9%	10%以上 売上総利益 構成比 3.7%
グローバルビジネスの リモデル	グローバルビジネス	+5.8%	5%程度 売上総利益 構成比 29.6%

※2 基準年：2024年3月期。 表記数字は、2025年3月期 上期の前年同期比

※3 4事業領域：・コンサルティングビジネス/テクノロジービジネス/コンテンツビジネス/インキュベーションビジネス

ビジネストピックス

- 当社グループのポリシーである「生活者発想」を、クライアント企業が推進していくための研究・開発を専門に行う組織の新設や、統合マーケティングプラットフォームの新たなモデルを拡充し、ビジネス基盤の強化を推進

「博報堂生活者発想技術研究所」を設立

博報堂

「生活者発想」をクライアント企業の活動全般に広く活用・推進していくための研究・開発を専門に行う組織を新設



所長：竹内 慶

主な研究開発領域

- **生活者発想経営に関する研究開発**
生活者発想研究／次世代ブランド研究 など
- **フォーカス型生活者研究開発**
若者研究／シニア世代研究 など
- **生活者心理・行動に関する研究開発**
クロスモーダル研究／行動デザイン／買物行動研究 など
- **ウェルビーイング社会共創に関する研究開発**
未来洞察研究／生活者課題解決研究 など
- **生活者発想に基づく創造性に関する研究開発**
アートシンキング研究／組織の創造性研究 など

2024/9/2 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/111845/>

統合マーケティングプラットフォーム CREATIVITY ENGINE BLOOMの新たなモデルをローンチ

博報堂テクノロジーズ

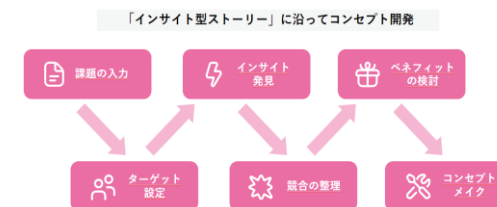
CREATIVE BLOOM PLANNING

生成AIを活用し「市場/商材理解」「ペルソナ生成」「訴求軸生成」「広告コピーの原案」等を生成。業務の効率化・高度化を目指す



STRATEGY BLOOM CONCEPT

AIが“壁打ち”形式でアイデアを拡散・整理。当社グループのコンセプト開発手法を効率的に実践可能。創造的なコンセプト開発を支援



【上段】 2024/10/2 <https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/corporate/2024/10/5020.html>

【下段】 2024/11/8 <https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/corporate/2024/11/5080.html>

ビジネストピックス

- グループの各事業会社が、AIを活用した様々な新たなソリューション・サービスを開発

World networkプロジェクトの主要企業である Tools for Humanity と提携

博報堂

デジタルパスポート「World ID」を発行するプロジェクトを推進する主要企業、Tools for Humanity社と提携。AIの進化に対して必要なツールの整備を通して、AIと人間が共存していける社会の実現を目指す

・HAKUHODO・

×



World IDの
日本でのサービス
拡大に取り組む

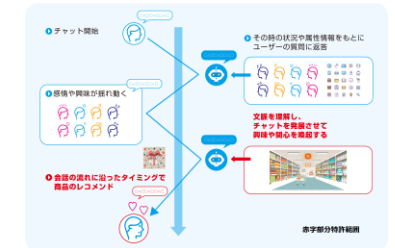
Tools for Humanity社
(本社米国)
共同創業者兼会長：
サムアルトマン

2024/10/9 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/111571/>

グループの各事業会社においてAIを活用した 新たなソリューション・サービスを開発

博報堂 / 大広 / Hakuhodo DY ONE

AIがセールスパersonであるかのような役割を担い、会話のやり取りの中でニーズを汲み取り、違和感のない形で商品を紹介する新技術の特許を取得（博報堂）



「対話」をテーマにマーケティング支援を行うAIツール群を集約したプラットフォームを開発（大広）

生成AIの活用を目指す企業の専門タスクフォースの支援サービスを提供開始。経営課題に合わせ包括的に支援（Hakuhodo DY ONE）



【上段】 2024/5/16 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/110221/>
 【中段】 2024/11/8 <https://www.daiko.co.jp/daiko-topics/2024/09111000237642>
 【下段】 2024/8/19 https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/news-release_20240819797/

ビジネストピックス

- 社会課題解決で成長を目指す官民共創の推進組織や、ウェルビーイング産業において様々なビジネスを推進するプラットフォームビジネスの始動など、幅広い領域でインキュベーションビジネスを強化

社会課題に官民共創で向き合い より大きな成長を目指す推進組織をスタート

博報堂

生活者、国、民間企業、アカデミアなどが一体となり、社会課題解決を推進してより大きな成長を目指す官民共創クリエイティブスタジオ「PROJECT_Vega」の活動を始動



2024/4/17 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/109805/>

ウェルビーイング産業において プラットフォームビジネスを行う新会社を設立

博報堂 / ソウルドアウト

生活者が暮らしの中でウェルビーイングを実現できるような共創体験・価値を提供するプラットフォームビジネスを設立し、メディア事業・インキュベーション事業・コミュニティ事業を推進



2024/10/17 <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/112212/>
https://www.sold-out.co.jp/news/topic_20241017

サステナビリティ方針の策定と重要課題（マテリアリティ）

- グローバルパーパスの実現に向け、新中期経営計画と博報堂DYグループの事業や文化、当社グループにおけるリスクと機会、社会・環境に与えるインパクトなどを踏まえ、サステナビリティ方針およびマテリアリティを策定

方針

重要課題（マテリアリティ）

人を中心としたサステナブルな経営

Environment

持続可能な
地球環境への貢献

地球環境との共生に向け企業としての取組を果たすと共に、生活者発想と、生活者・企業・社会をつなぐ力を活かし、サステナブルな行動変容を実現する

- 気候変動へのアクション
- サステナブルな行動変容への貢献

Social

多様な個の成長と尊重による
クリエイティビティの発揮

社員一人ひとりの想いを開放し、専門性や先進性を向上させる生活者発想と共創力によりクリエイティビティを発揮し、生活者・企業・社会の課題を解決する

- 専門性と先進性を発揮する人材への投資・育成・環境整備
- ウェルビーイングの推進
- DE&Iの推進
- 将来人材や地域コミュニティへの貢献

Governance

コンプライアンスと
インテグリティの追求

社員一人ひとりが信頼にこたえる責任と向き合い、自らが持つクリエイティビティを正しく発揮することで、社会へのポジティブなインパクトを生み出す

- 人権の尊重
- コンプライアンス/高い倫理性の堅持
- マーケティング活動におけるインテグリティ（誠実性）

活動事例

「Nature Positive Studio」をスタート

博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ

ネイチャーポジティブ実現とビジネス創出を支援。「未来生活者発想」軸の統合ソリューション開発や社外セミナー、ワークショップを実施



「RESILIENT LIFE PROJECT」の立ち上げ

博報堂

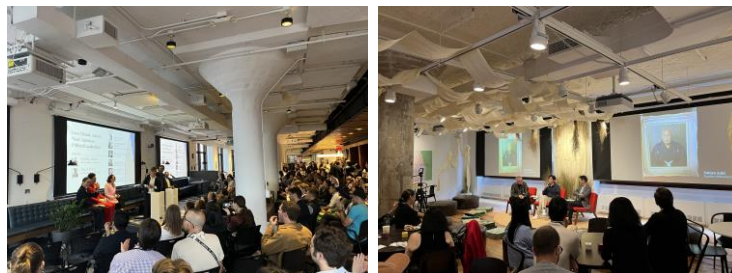
生活者を起点に、自然災害などを含むあらゆるリスクに備え、より豊かな毎日を送ることのできる生活様式(=レジリエントライフ)普及を目指す



気候変動関連イベント「kyu House」を開催

kyu

“Climate Week NYC 2024”の開催期間(24年9月)に、kyu各社の気候変動課題への解決力を発信する独自イベントをにニューヨークで実施



中高生向けの探究学習プログラム「Hasso Camp」

博報堂

社会課題の探究・解決に取り組み、発想力を育む中高生向けの探究学習プログラムの提供を開始



損益計算書

GAAP（日本基準）ベース連結損益計算書 2025年3月期 上期

(金額：百万円)	累計（6か月）			四半期（3か月）			
	実績	対前年同期比		Q1実績	前年同期比	Q2実績	前年同期比
売上高	735,393	+37,539	+5.4%	352,513	-0.5%	382,880	+11.5%
収益	427,853	+28,295	+7.1%	200,361	-0.5%	227,492	+14.8%
売上総利益	183,546	+8,456	+4.8%	89,054	-0.2%	94,491	+10.0%
売上総利益率	25.0%	-0.1pt		25.3%	+0.1pt	24.7%	-0.3pt
販管費	174,670	+925	+0.5%	84,846	-0.7%	89,823	+1.7%
営業利益	8,876	+7,530	+559.4%	4,207	+11.6%	4,668	n/a
OM率	4.8%	+4.1pt		4.7%	+0.5pt	4.9%	+7.8pt
営業外収益	4,072	+57	+1.4%	3,280	+2.1%	792	-1.3%
営業外費用	3,150	+1,351	+75.1%	813	-19.1%	2,336	+194.3%
経常利益	9,799	+6,237	+175.1%	6,674	+11.7%	3,124	n/a
特別利益	1,375	+75	+5.8%	946	-13.6%	428	+110.5%
特別損失	7,092	+1,078	+17.9%	2,231	+199.2%	4,861	-7.7%
税金等調整前四半期純利益	4,081	+5,234	n/a	5,389	-14.8%	-1,307	n/a
法人税等	7,937	-114	-1.4%	4,026	-26.3%	3,910	+51.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,134	-534	-32.0%	1,044	-36.9%	89	+591.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	-4,989	+5,883	n/a	317	n/a	-5,307	n/a
のれん等償却額	8,202	+498	+6.5%	4,087	+10.2%	4,114	+3.0%
のれん償却前四半期純利益	3,213	+6,382	n/a	4,405	+51.0%	-1,192	n/a

※ のれん等償却額は、のれん償却額および企業結合により発生した無形資産の償却額の合計である。

損益計算書（調整後）

2025年3月期 上期

調整後損益 (金額：百万円)	累計（6か月）			四半期（3か月）			
	実績	対前年同期比	前年同期比	Q1実績	前年同期比	Q2実績	前年同期比
売上高	732,127	40,410	+5.8%	349,246	+0.2%	382,880	+11.6%
収益	424,587	31,166	+7.9%	197,095	+0.7%	227,492	+15.0%
売上総利益	180,290	11,304	+6.7%	85,798	+2.8%	94,491	+10.5%
売上総利益率	24.6%	+0.2pt		24.6%	+0.6pt	24.7%	-0.3pt
販管費	174,670	925	+0.5%	84,846	-0.7%	89,823	+1.7%
営業利益	5,620	10,378	n/a	951	n/a	4,668	n/a
OM率	3.1%	+5.9pt		1.1%	+3.5pt	4.9%	+8.2pt
のれん等償却額	8,202	498	+6.5%	4,087	+10.2%	4,114	+3.0%
のれん償却前営業利益	13,822	10,877	+369.3%	5,039	+191.4%	8,783	+622.2%
のれん償却前OM率	7.7%	+5.9pt		5.9%	+3.8pt	9.3%	+7.9pt
調整額 (金額：百万円)	実績	対前年同期比		Q1実績	前年同期比	Q2実績	前年同期比
売上高	3,266	-2,871		3,266	-2,514	0	-357
収益	3,266	-2,871		3,266	-2,514	0	-357
売上総利益	3,256	-2,848		3,256	-2,493	0	-354
販管費	0	+0		0	+0	0	+0
営業利益	3,256	-2,848		3,256	-2,493	0	-354

※のれん等償却額とは、のれん償却額および企業結合により発生した無形資産の償却額の合計である。

※ 調整額：連結子会社であるユナイテッド株式会社が保有する、株式会社メルカリの株式の売却益を指す。「調整後」は当該金額を除くことを意味する。

地域別業績

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比	対前年同期比
日本			
売上高	625,227	+36,952	+6.3%
収益	317,686	+27,728	+9.6%
売上総利益	133,459	+6,054	+4.8%
販管費	103,989	-2,389	-2.2%
営業利益	29,469	+8,444	+40.2%
海外			
売上高	115,022	+187	+0.2%
収益	115,022	+187	+0.2%
売上総利益	53,030	+2,920	+5.8%
販管費	58,674	+2,000	+3.5%
営業利益	-5,644	+919	n/a
消去または全社			
売上高	-4,855	+399	
収益	-4,855	+379	
売上総利益	-2,942	-518	
販管費	12,006	+1,314	
営業利益	-14,948	-1,833	
連結			
売上高	735,393	+37,539	+5.4%
収益	427,853	+28,295	+7.1%
売上総利益	183,546	+8,456	+4.8%
販管費	174,670	+925	+0.5%
営業利益	8,876	+7,530	+559.4%

地域別業績（累計および四半期）

2025年3月期 上期

	累計（6か月）			四半期（3か月）			
	累計実績	対前年同期比		Q1実績	対前年同期比	Q2実績	対前年同期比
日本（調整後）							
(金額：百万円)							
売上高	621,960	+39,823	+6.8%	297,997	+0.7%	323,963	+13.2%
売上総利益	130,203	+8,902	+7.3%	61,256	+1.4%	68,946	+13.2%
売上総利益率	20.9%	+0.1pt		20.6%	+0.2pt	21.3%	-0.0pt
販管費	103,989	-2,389	-2.2%	49,066	-6.4%	54,923	+1.8%
営業利益	26,213	+11,292	+75.7%	12,189	+52.9%	14,023	+101.8%
OM率	20.1%	+7.8pt		19.9%	+6.7pt	20.3%	+8.9pt
のれん等償却額	1,139	-29	-2.5%	544	-2.9%	595	-2.2%
のれん償却前営業利益	27,352	+11,263	+70.0%	12,733	+49.2%	14,618	+93.5%
のれん償却前OM率	21.0%	+7.7pt		20.8%	+6.7pt	21.2%	+8.8pt
海外							
(金額：百万円)							
売上高	115,022	+187	+0.2%	53,745	-2.6%	61,277	+2.7%
売上総利益	53,030	+2,920	+5.8%	26,008	+8.0%	27,021	+3.8%
売上総利益率	46.1%	+2.5pt		48.4%	+4.7pt	44.1%	+0.5pt
販管費	58,674	+2,000	+3.5%	29,011	+4.8%	29,662	+2.3%
営業利益	-5,644	+919	n/a	-3,003	n/a	-2,641	n/a
OM率	-10.6%	+2.5pt		-11.5%	+3.4pt	-9.8%	+1.6pt
のれん等償却額	7,063	+527	+8.1%	3,543	+12.5%	3,519	+4.0%
のれん償却前営業利益	1,418	+1,447	n/a	540	n/a	878	+103.8%
のれん償却前OM率	2.7%	+2.7pt		2.1%	+4.0pt	3.3%	+1.6pt

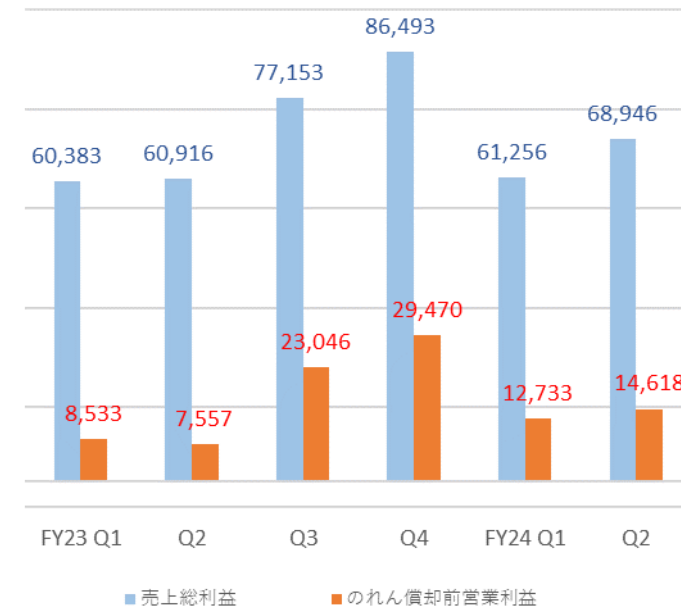
地域別業績（日本：調整後）

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比	
売上高	621,960	+39,823	+6.8%
収益	314,420	+30,599	+10.8%
売上総利益	130,203	+8,902	+7.3%
売上総利益率	20.9%	+0.1pt	
販管費	103,989	-2,389	-2.2%
営業利益	26,213	+11,292	+75.7%
OM率	20.1%	+7.8pt	
のれん等償却額	1,139	-29	-2.5%
のれん償却前営業利益	27,352	+11,263	+70.0%
のれん償却前OM率	21.0%	+7.7pt	

売上総利益・のれん償却前営業利益の推移
(四半期(3ヶ月)ベース)

(金額：百万円)



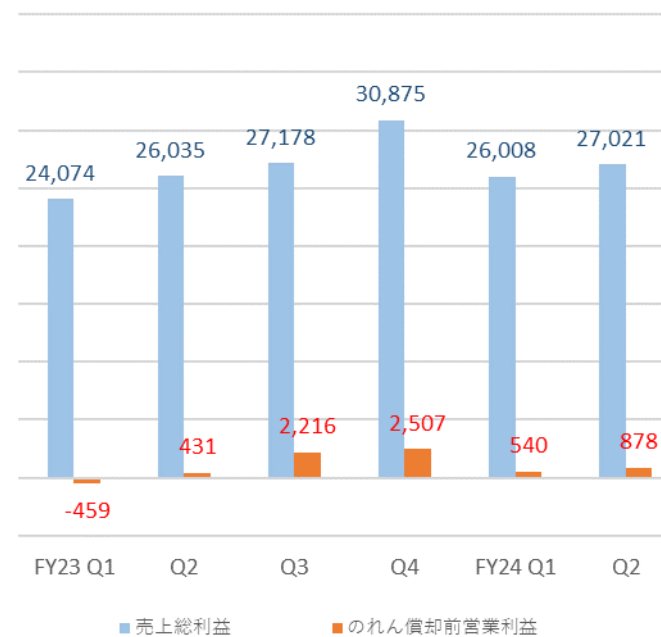
地域別業績（海外）

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比	
売上高	115,022	+187	+0.2%
収益	115,022	+187	+0.2%
売上総利益	53,030	+2,920	+5.8%
売上総利益率	46.1%	+2.5pt	
販管費	58,674	+2,000	+3.5%
営業利益	-5,644	+919	n/a
OM率	-10.6%	+2.5pt	
のれん等償却額	7,063	+527	+8.1%
のれん償却前営業利益	1,418	+1,447	n/a
のれん償却前OM率	2.7%	+2.7pt	

売上総利益・のれん償却前営業利益の推移
(四半期（3ヶ月）ベース)

(金額：百万円)



国内：種目別売上高

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比		構成比
新聞	11,613	-2,435	-17.3%	1.9%
雑誌	2,980	-586	-16.4%	0.5%
ラジオ	4,637	-392	-7.8%	0.8%
テレビ	180,368	+3,276	+1.9%	29.3%
4マス計	199,600	-137	-0.1%	32.4%
インターネットメディア	176,493	+12,391	+7.6%	28.6%
アウトドアメディア	16,268	+2,128	+15.1%	2.6%
メディア計	392,362	+14,382	+3.8%	63.7%
クリエイティブ	67,583	+5,760	+9.3%	11.0%
マーケティング／プロモーション	139,602	+23,697	+20.4%	22.6%
その他（コンテンツ等）	16,877	-1,196	-6.6%	2.7%
メディア以外計	224,062	+28,261	+14.4%	36.3%
種目別売上高計	616,425	+42,644	+7.4%	100.0%
インターネット領域売上高	204,948	+12,556	+6.5%	33.2%

種目別売上高（累計および四半期）

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	累計（6か月）			四半期（3か月）			
	累計実績	対前年同期比		Q1実績	前年同期比	Q2実績	前年同期比
新聞	11,613	-2,435	-17.3%	5,536	-22.4%	6,076	-12.2%
雑誌	2,980	-586	-16.4%	1,318	-22.0%	1,662	-11.4%
ラジオ	4,637	-392	-7.8%	2,365	-6.3%	2,272	-9.3%
テレビ	180,368	+3,276	+1.9%	90,485	-1.5%	89,883	+5.4%
4マス計	199,600	-137	-0.1%	99,705	-3.4%	99,895	+3.5%
インターネットメディア	176,493	+12,391	+7.6%	90,552	+3.7%	85,940	+11.9%
アウトドアメディア	16,268	+2,128	+15.1%	8,005	+15.4%	8,262	+14.7%
メディア計	392,362	+14,382	+3.8%	198,263	+0.4%	194,098	+7.5%
クリエイティブ	67,583	+5,760	+9.3%	32,037	-0.5%	35,545	+20.0%
マーケティング/プロモーション	139,602	+23,697	+20.4%	56,545	+5.4%	83,056	+33.4%
その他（コンテンツ等）	16,877	-1,196	-6.6%	8,188	-2.9%	8,688	-9.9%
メディア以外計	224,062	+28,261	+14.4%	96,772	+2.6%	127,290	+25.4%
上記種目合計	616,425	+42,644	+7.4%	295,035	+1.1%	321,389	+13.9%
インターネット領域売上高	204,948	+12,556	+6.5%	103,775	+3.1%	101,173	+10.3%

国内：業種別売上高

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比		構成比
情報・通信	66,054	+9,041	+15.9%	12.8%
飲料・嗜好品	54,602	+2,801	+5.4%	10.5%
自動車・輸送機器・関連品	43,830	-85	-0.2%	8.5%
食品	38,005	+3,830	+11.2%	7.3%
外食・各種サービス	37,633	+2,602	+7.4%	7.3%
化粧品・トイレタリー	35,276	+524	+1.5%	6.8%
金融・保険	32,104	+94	+0.3%	6.2%
流通・小売業	28,340	+393	+1.4%	5.5%
官公庁・団体	28,224	+19,511	+224.0%	5.5%
薬品・医療用品	27,903	-137	-0.5%	5.4%
交通・レジャー	23,583	+3,228	+15.9%	4.6%
不動産・住宅設備	21,347	-929	-4.2%	4.1%
ファッション・アクセサリ	13,068	+1,010	+8.4%	2.5%
ゲーム・スポーツ・趣味用品	11,600	-1,007	-8.0%	2.2%
エネルギー・素材・機械	10,244	+2,113	+26.0%	2.0%
家庭用品	8,464	-1,682	-16.6%	1.6%
家電・AV機器	8,304	+449	+5.7%	1.6%
出版	6,939	-330	-4.5%	1.3%
精密機器・事務用品	6,645	+1,164	+21.2%	1.3%
医療・教育・宗教	4,818	-1,410	-22.6%	0.9%
案内・その他	10,858	-1,072	-9.0%	2.1%
業種別売上高計	517,850	+40,109	+8.4%	100.0%

国内：業種別売上高

● 主な増加業種

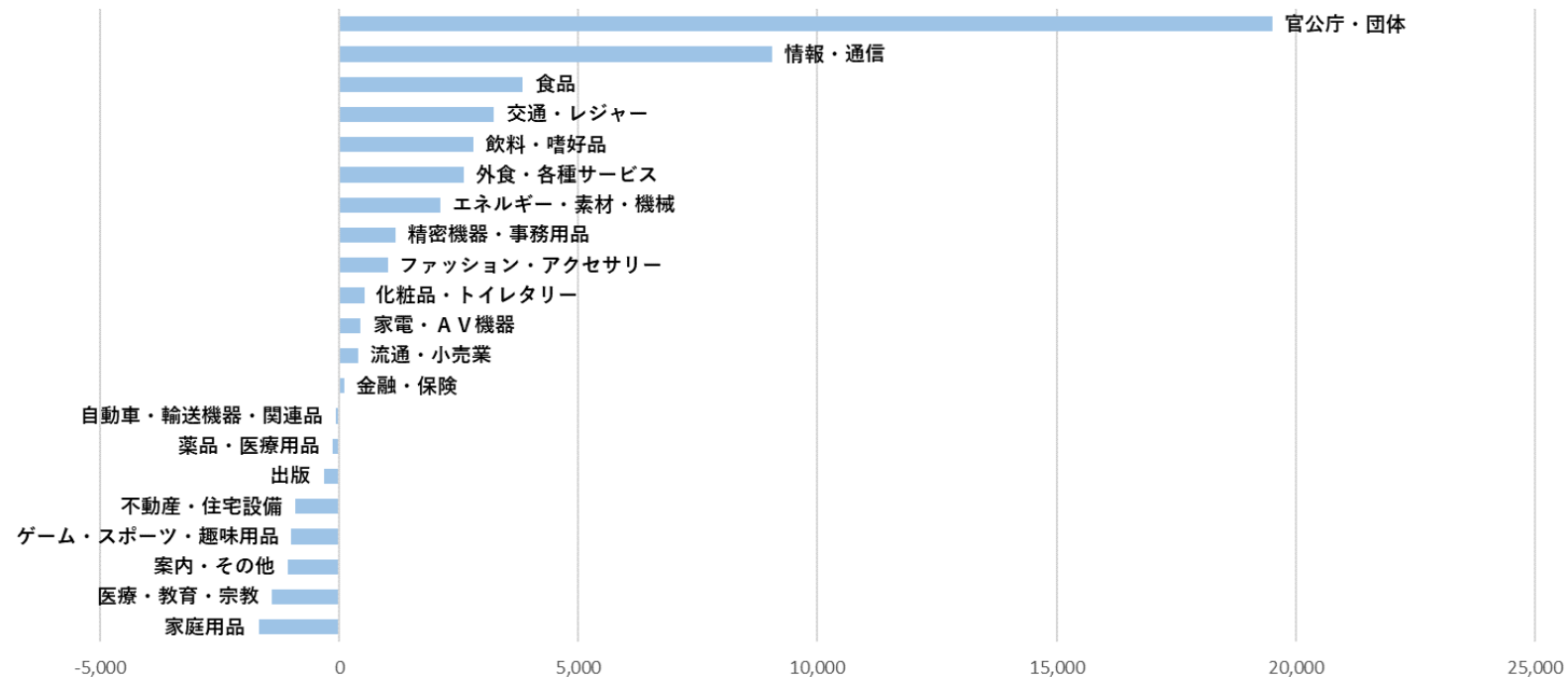
– 官公庁・団体	当期実績	282億円	前年同期比	+195億円 (+224.0%)
– 情報・通信		660億円		+90億円 (+15.9%)

● 主な減少業種

– 家庭用品	当期実績	84億円	前年同期比	-16億円 (-16.6%)
– 医療・教育・宗教		48億円		-14億円 (-22.6%)

2025年3月期 上期 前年同期比増減額

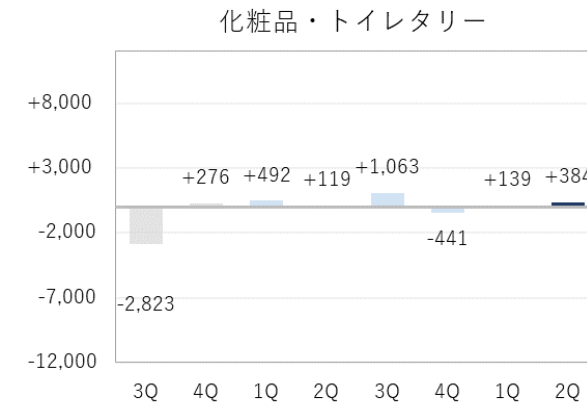
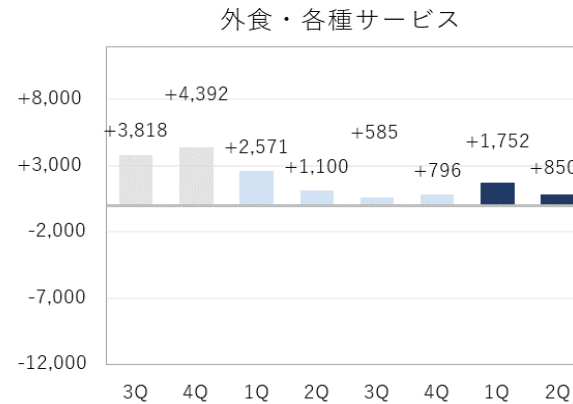
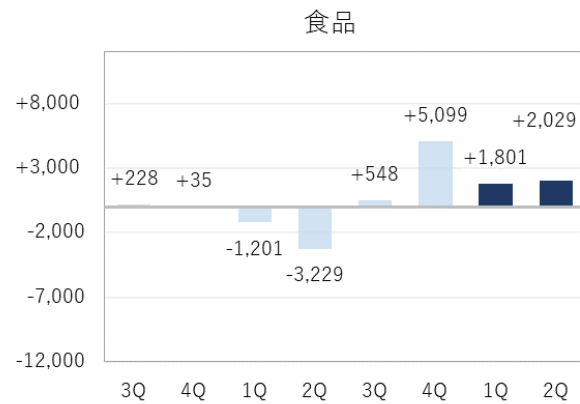
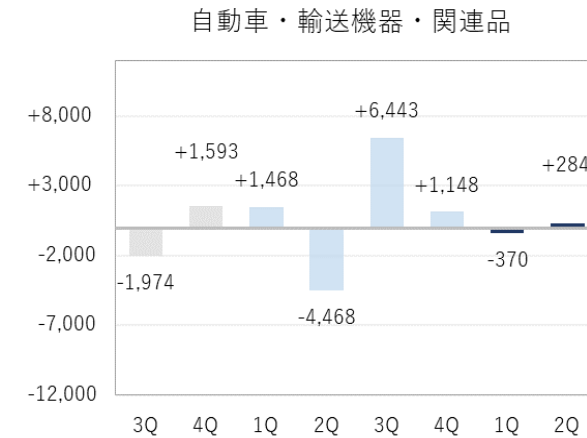
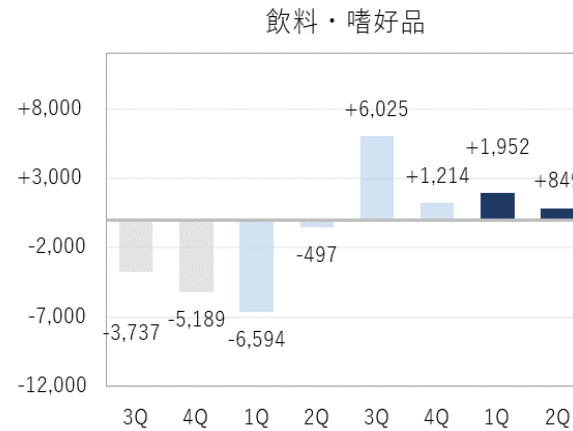
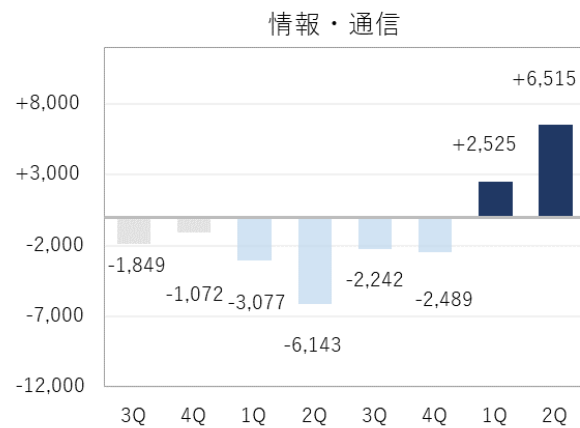
金額単位：百万円



国内：業種別前年同期比（四半期単位） (1)

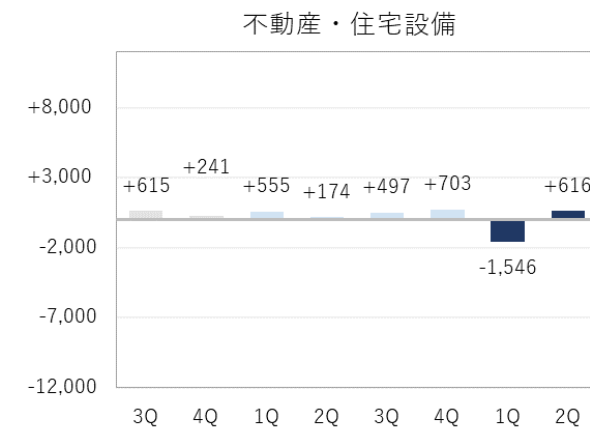
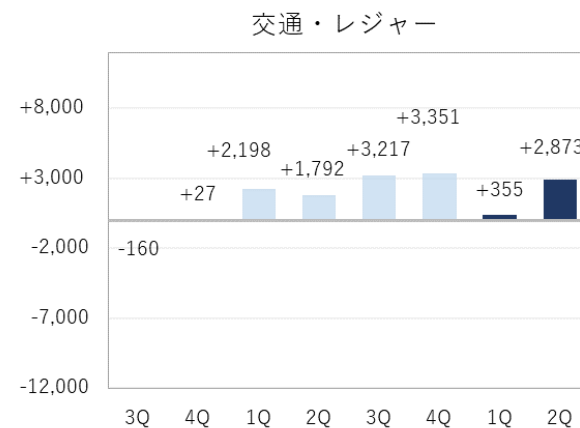
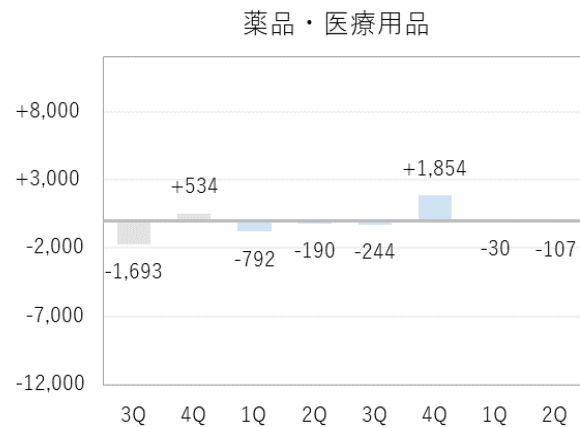
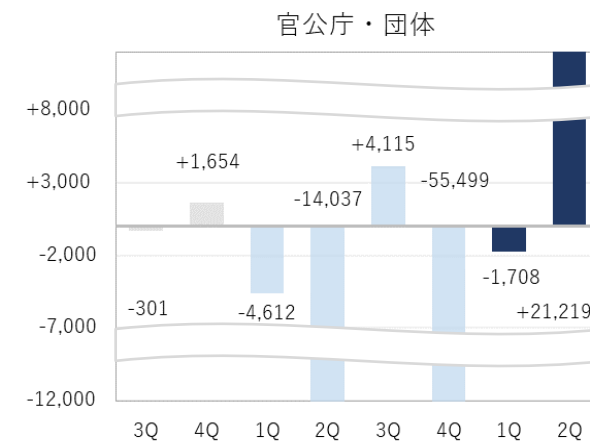
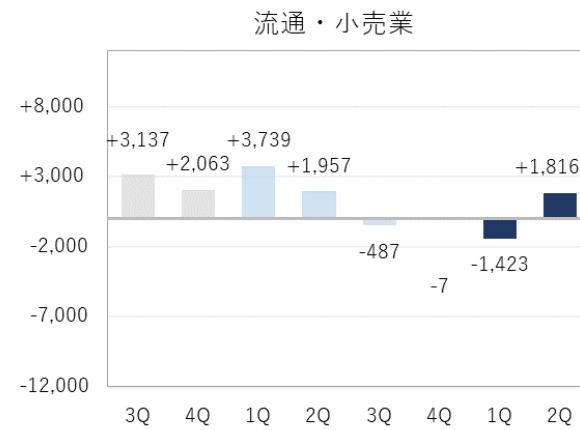
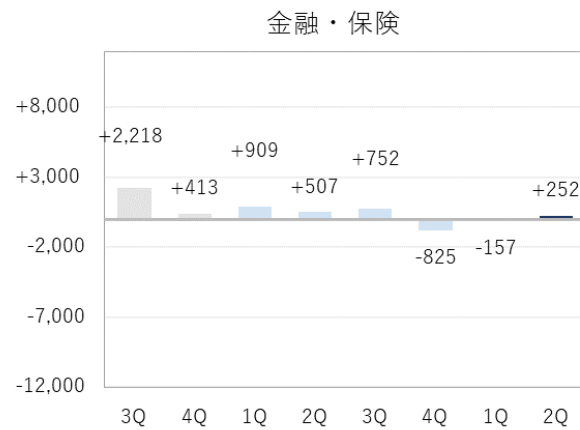
23年3月期
 24年3月期
 25年3月期

金額：百万円



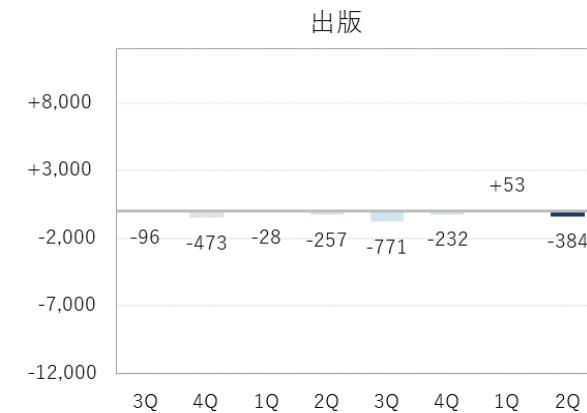
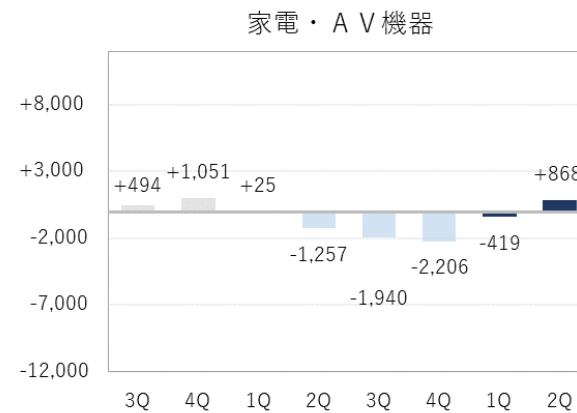
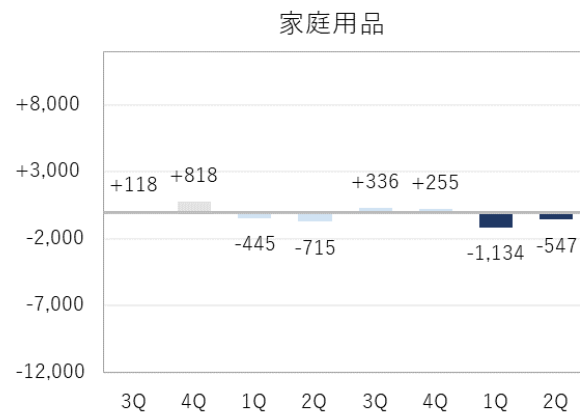
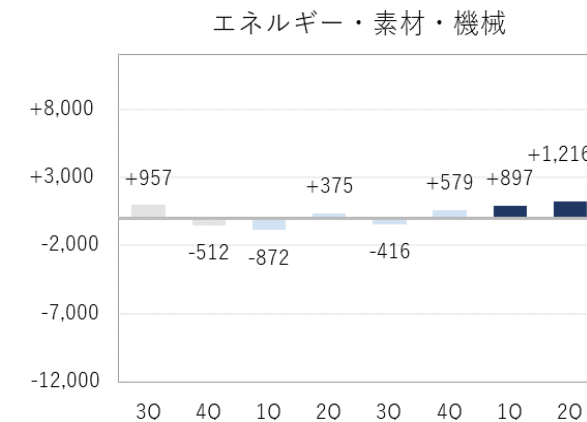
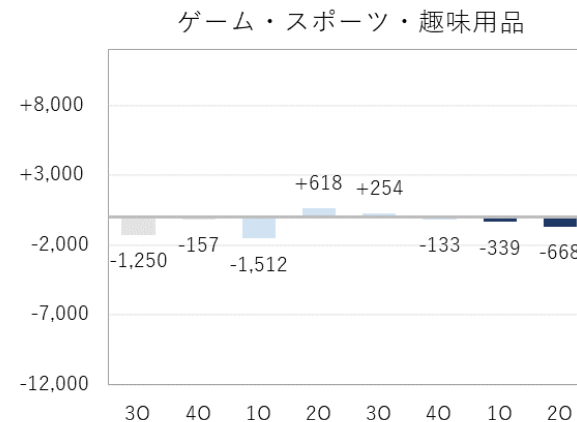
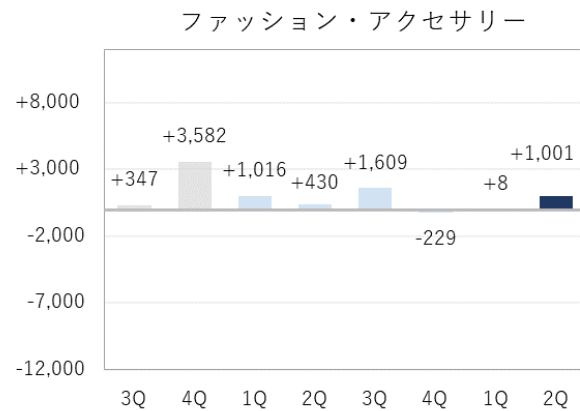
国内：業種別前年同期比（四半期単位） (2)

23年3月期
 24年3月期
 25年3月期
 金額：百万円



国内：業種別前年同期比（四半期単位）（3）

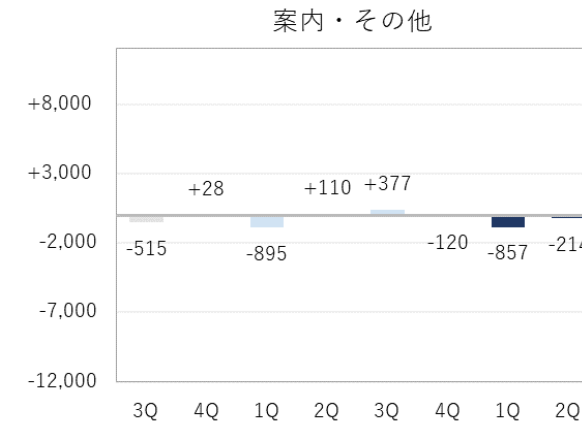
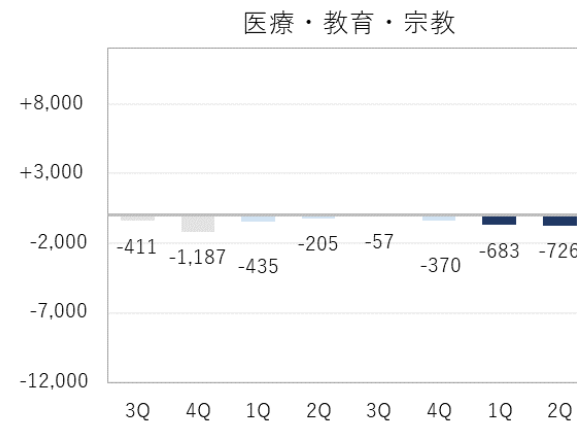
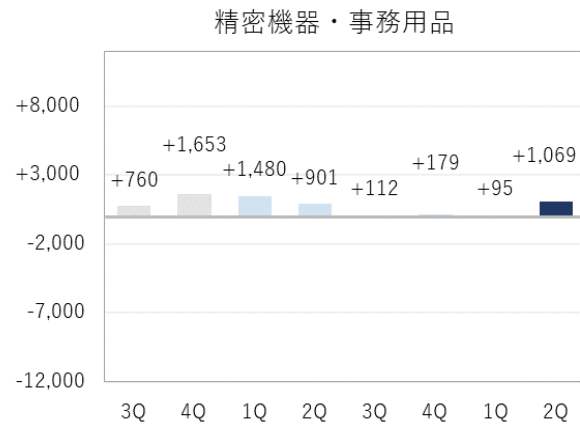
■ 23年3月期 ■ 24年3月期 ■ 25年3月期
金額：百万円



国内：業種別前年同期比（四半期単位） (4)

23年3月期 24年3月期 25年3月期

金額：百万円

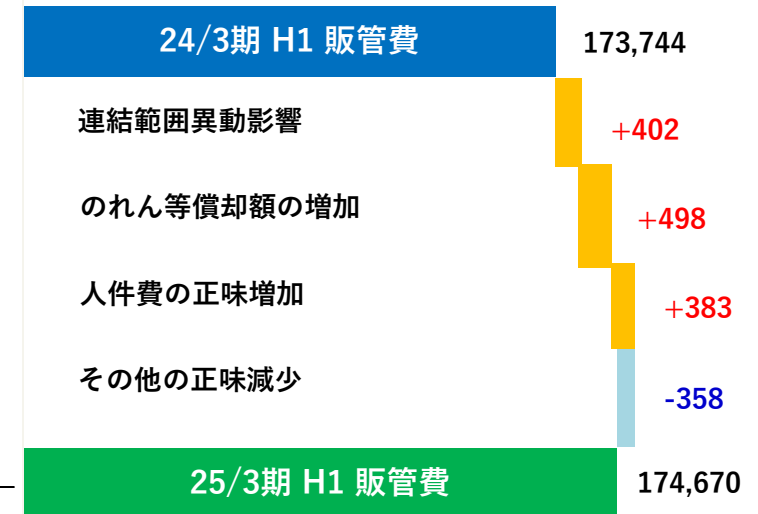


販売費及び一般管理費

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	対前年同期比	
人件費	117,313	+652	+0.6%
賃借料	10,314	-126	-1.2%
減価償却費	5,190	+562	+12.2%
のれん等償却額	8,202	+498	+6.5%
その他	33,648	-661	-1.9%
その他	57,356	+273	+0.5%
販売費及び一般管理費 計	174,670	+925	+0.5%

販売費及び一般管理費の主要増減要素 (百万円)



営業外損益・特別損益

2025年3月期 上期

営業外損益	(金額：百万円)	実績	対前年同期比
営業外収益		4,072	+57
内 受取利息		399	+135
受取配当金		1,376	-19
為替差益		-	-1,299
投資事業組合運用益		1,257	+1,257
営業外費用		3,150	+1,351
内 支払利息		580	-5
為替差損		1,360	+1,360
持分法損失		655	+484
投資事業組合運用損		-	-517
特別損益	(金額：百万円)	実績	対前年同期比
特別利益		1,375	+75
内 投資有価証券売却益		269	
関係会社株式売却益		903	
特別損失		7,092	+1,078
内 特別退職金		747	
固定資産除却損		307	
投資有価証券評価損		1,765	
事業整理損		738	
減損損失		2,315	

貸借対照表

(金額：百万円)	24年9月末	前期末比	構成比
流動資産	589,504	-100,884	63.0%
内 現金及び預金	158,643	-25,883	
受取手形及び売掛金	331,542	-70,616	
固定資産	346,821	+2,195	37.0%
有形固定資産	59,189	-1,778	
無形固定資産	106,801	+2,319	
内 のれん	65,596	+520	
投資その他の資産	180,830	+1,655	
内 投資有価証券	138,784	-51	
資産合計	936,326	-98,688	100.0%
流動負債	338,827	-100,066	36.2%
内 支払手形及び買掛金	215,040	-50,517	
短期借入金	6,198	-9,144	
1年内返済予定長期借入金	552	-622	
固定負債	185,216	-1,702	19.8%
内 長期借入金	134,583	-50	
負債合計	524,044	-101,769	56.0%
株主資本	327,187	-10,542	34.9%
資本金	10,790	-	
利益剰余金	337,114	-10,863	
自己株式	-20,773	+264	
その他の包括利益累計額	60,796	+13,575	6.5%
新株予約権	211	-	0.0%
非支配株主持分	24,086	+48	2.6%
純資産合計	412,281	+3,081	44.0%

キャッシュ・フロー計算書

2025年3月期 上期

(金額：百万円)	実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,476	+25,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	-13,462	-1,997
有形固定資産の取得による支出	-1,600	+1,580
無形固定資産の取得による支出	-5,022	+324
投資有価証券の取得による支出	-1,777	+1,737
投資有価証券の売却による収入	1,196	-726
子会社株式及び出資金の取得による支出	-3,989	-1,341
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得支出	-1,058	-9
財務活動によるキャッシュ・フロー	-16,876	-43,736
短期借入金の純増減	-8,608	-55,789
長期借入金・社債の純増減	-1,090	-1,183
自己株式の取得による支出	0	+3,286
配当金の支払額	-5,873	+25
非支配株主への配当金の支払額	-888	+404
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得支出	-126	+5,093
現金及び現金同等物の期首残高	180,067	+20,985
現金及び現金同等物の期末残高	154,748	+444

「統合報告書2024」

- サステナビリティ関連情報の詳細は、2024年11月8日(金)公開の「統合報告書2024」をご確認ください。

HakuhodoDY holdings

Integrated Report 2024

統合報告書 2024

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/ir/>

本資料ご利用上の注意事項について

(見通しに関する注意事項)

この資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、将来の数値・数額、事実の認識・評価などといった、将来に関する情報をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎としているものであります。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も、また将来その通りに実現するという保証もありません。

これらの事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないこととなりうるリスクや不確定要因は多数ありますが、以下のものが含まれます。

- (1) 広告業界全般に関するリスク（景気変動や取引慣行の変化など広告業界の動向）
- (2) 法規制の改正に関するリスク
- (3) 広告主およびメディア会社に関するリスク（取引先ニーズの変化への的確な対応）
- (4) 競合によるリスク（他の広告会社や新規参入企業等との競合状況）
- (5) 市場構造変化を捉えた事業領域の拡充に関するリスク
- (6) グローバルな事業展開に関するリスク
- (7) 訴訟等に関するリスク
- (8) 天災、疫病の流行、紛争等によるリスク

なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

(会計基準の変更について)

当社は、2022年3月期第1四半期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）を適用しており、本資料は同基準適用後の数値に基づき作成しております。なお、2022年3月期以前の「収益」も可能な限り算出し、前年同期比較等に使用しております。また、同基準の適用により、従来「売上高」は連結財務諸表等において掲載されませんが、当社グループの業績を把握するために有用であると判断し、本資料では2023年3月期に引き続き掲載しております。

(会計監査について)

本資料内の数値につきましては、独立監査人の監査を受けておりません。

(地域別業績の区分変更について)

2025年3月期より、当社グループ内の業績をより適切に把握するために、従来「日本」に計上していた連結子会社の一部を「消去又は全社」に含める方法に変更しております。なお、2024年3月期の地域別の業績は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

Hakuhodo DY holdings

博報堂DYホールディングス